



文化庁メディア芸術祭国内巡回事業 「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」巡回企画を実施

「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」（主催：文化庁／企画・運営：一般財団法人NHKインターナショナル）では、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心としたメディアアート、映像、ウェブ、ゲーム、アニメーション、マンガ等の優れた作品を、国内各地のメディア芸術関連施設やフェスティバル等にて展示・上映しています。

11月2日（土）、3日（日）に開催される「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」では、第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞『グスコブドリの伝記』の監督、杉井ギサブロー氏（第17回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員）によるトーク&上映会を実施します。また、文化庁メディア芸術祭アニメーション部門、マンガ部門の受賞作品を紹介する特別展示とプログラム上映を開催します。

¹*文化庁メディア芸術祭に関しては次頁を参照

■実施概要

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」巡回企画（展示、上映、トークイベント）

会期：2013年10月30日（水）～11月4日（月・休日）

<トーク&上映会>

「情感の演出家 杉井ギサブロー ～「アニメ」と「アニメーション」を創り続けた55年～」

日時：11月2日（土）12:30～15:30

会場：i-MEDIA 国際映像メディア専門学校 実習棟 ※要事前申込（先着順）

出演：杉井ギサブロー（第17回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員）

モデレーター：原口正宏（アニメーション史研究者）

※劇場アニメーション『グスコブドリの伝記』を特別上映

<展示>

会期：10月30日（水）～11月4日（月・休日）10:00～17:00

会場：りゅーとびあ 4F ギャラリー

『グスコブドリの伝記』（第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞）

『GUNSLINGER GIRL』（第16回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞）

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』

（第15回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員会推薦作品）

<上映>

会期：10月30日（水）～11月4日（月・休日）10:00～17:00

会場：りゅーとびあ 4F ギャラリー及び新潟市マンガ・アニメ情報館ミニシアター

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』上映

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—アニメーションプログラム—（90分）」

※このほか文化庁メディア芸術祭と第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品を映像やパネルで紹介し、また、マンガの閲覧コーナーも設置します。

主催：文化庁

企画・運営：一般財団法人NHKインターナショナル

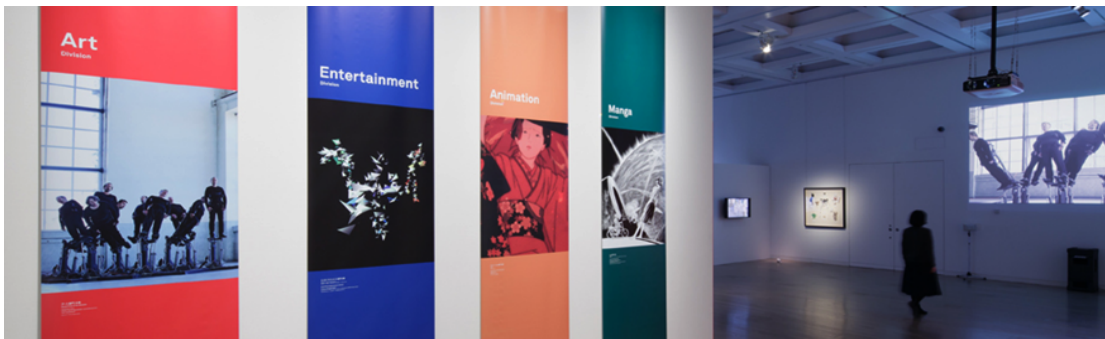
公式ウェブサイト：<http://jmaf-promote.jp/>



【文化庁メディア芸術祭について】

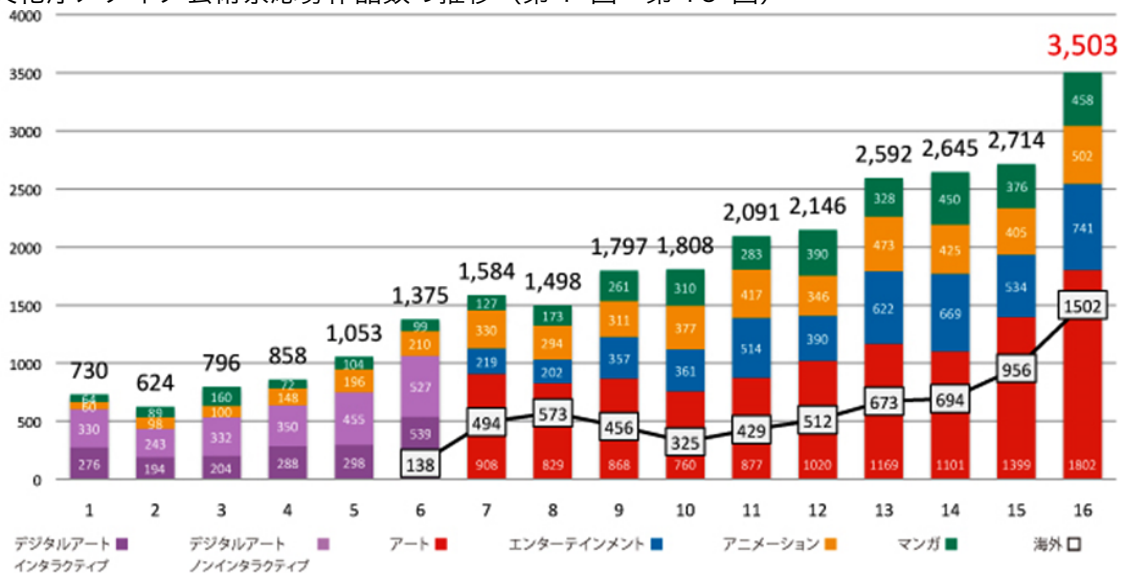
文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を表彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を表彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。昨年度〔第16回〕は、過去最多となる世界72の国と地域から3,503点に及ぶ作品の応募があり、文化庁メディア芸術祭は国際的なフェスティバルへと成長を続けています。

また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開をはじめ、創作活動支援や連携推進までを含む関連事業を通し、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。



平成24年度〔第16回〕文化庁メディア芸術祭受賞作品展

文化庁メディア芸術祭応募作品数の推移（第1回～第16回）





【「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」について】

「新潟市がアニメ・マンガ一色に染まる2日間」と題して開催される、にいがたアニメ・マンガフェスティバル（通称・がたふえす）。2011年から開催され、今回で4回目を迎えるイベントです。

前年度は「万代エリア・古町エリア・白山エリア」で開催され、2日間で46,000人の来場者を記録しました。今年のテーマは「みんなが主役」。大人も子どもも、マニアもライトファンもみんなが自分の“楽しさ”を見つけられます。（参考：「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」ウェブサイトより）

■開催概要

名 称：にいがたアニメ・マンガフェスティバル（がたふえす Vol.4）

<http://www.niigata-animemangafes.com/>

会 期：2013年11月2日（土）、11月3日（日）

会 場：

万代エリア（万代シティ BP2、新潟市マンガ・アニメ情報館）

古町エリア（古町5・6・7番町、新古町版画通、新潟市マンガの家、NEXT21ビル市民プラザ）

白山エリア（りゅーとぴあ4Fギャラリー、新潟県政記念館、上古町商店街（1～4番町））

関連エリア 旧斎藤家別邸、北方文化博物館 他

主 催：新潟市、JAM日本アニメ・マンガ専門学校、ガタケット事務局、

にいがたマンガ大賞実行委員会

料 金：無料



【NHKインターナショナル】

NHKインターナショナルでは、文化庁が主催する文化庁メディア芸術祭の関連事業である「国内巡回事業」の企画運営を受託し、日本のメディア芸術の発展に努めています。



【文化庁メディア芸術祭国内巡回事業
「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」巡回企画について】

会期：2013年10月30日（水）～11月4日（月・休日）

■トーク&上映会

「情感の演出家 杉井ギサブロー

～「アニメ」と「アニメーション」を創り続けた55年～

出演：杉井ギサブロー（第17回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員）

モデレーター：原口正宏（アニメーション史研究家）

日時：11月2日（土）12:30～15:30

会場：i-MEDIA 国際映像メディア専門学校 実習棟 ※要事前申込 定員：180名（先着順）

※特別上映 『グスコブドリの伝記』 杉井 ギサブロー

劇場アニメーション（第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞）106分

『鉄腕アトム』『まんが日本昔ばなし』『タッチ』『銀河鉄道の夜』など日本のアニメーション史上に名を残す作品に数多く携わってきた杉井ギサブロー監督。TVアニメーション作品をあえて「アニメ」と位置づけ、劇場で公開される長編の「アニメーション」と異なる制作手法で、独自の世界観を表現してきました。昨年公開され、第16回文化庁メディア芸術祭で優秀賞を受賞した『グスコブドリの伝記』は『銀河鉄道の夜』（1985年製作）に続く杉井ギサブロー監督による宮沢賢治原作の劇場アニメーション作品です。本作では、擬人化された猫のキャラクターをどう動かすか、キャラクターの表情をどのように表現するかなど、杉井監督ならではの技術面でのこだわりを見ることができます。アニメーション制作の世界に身を投じて55年。その間、作品に情感を込める術を追い求めてきた杉井監督の、本作品への思い、そして見どころをお伝えします。

杉井ギサブロー

1940年静岡県生まれ。アニメーション監督。東映動画にアニメーターとして入社し、後に虫プロ創立に参加。「鉄腕アトム」演出。「悟空の大冒険」にて初監督。「まんが日本昔ばなし」「キャプテン翼」ほか多数の作品を手がけ、主な監督作品に「銀河鉄道の夜」「タッチ」「あらしのよるに」などがある。2012年夏公開の宮沢賢治原作「グスコブドリの伝記」が第16回メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞を受賞。

原口正宏

1962年、東京生まれ。早稲田大学第一文学部西洋史学専修卒業。日本の商業アニメのスタジオと人脈の流れを専門的に研究。現在は東京工芸大学、神戸芸術工科大学、宇都宮文星芸術大学でそれぞれ非常勤講師を務める傍ら、雑誌「アニメージュ」の編集に従事。同誌の情報記録ページ「パーフェクデータ」を27年間にわたり担当中。編著・共著に「TVアニメ25年史」（徳間書店）、「劇場アニメ70年史」（徳間書店）、「富野由悠季全仕事」（キネマ旬報社）「タノコインサイダース」（講談社）など。

<申込方法>

E-mailで、件名にイベント名を記載の上

(1) 氏名（複数人応募の場合は参加者全員の氏名） (2) 年齢 (3) 住所 (4) 電話番号をご記入の上、お申し込みください。

申込締切：11月1日（金） ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込先：bunka@city.niigata.lg.jp（がたふえす事務局）



■ 展示

会期：2013年10月30日（水）～11月4日（月・休日） 10:00～17:00
会場：りゅーとぴあ 4F ギャラリー

『グスコブドリの伝記』

杉井 ギサブロー

劇場アニメーション（第16回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞）

＜動画用紙・絵コンテ＞

作品の制作に使用された動画用紙や絵コンテ、ビジュアルブックなどを展示します。



©2012「グスコブドリの伝記」製作委員会/ますむら・ひろし

少年「ブドリ」は、美しきイーハトーヴの森で、両親と妹の「ネリ」と毎日を幸せに楽しく暮らしていた。ところが、突然やって来た冷害でブドリはひとりぼっちになってしまう。森を出る決心をしたブドリは赤ひげの沼ばたけで働くが、やがてそこも寒さで収穫が途絶えることに……。あてもなく旅に出たブドリは、イーハトーヴ市を訪れ、クーボー博士と出会う。博士に紹介してもらった火山局でブドリは懸命に働き、逞しく成長してゆく。だが、あの寒さが再び忍び寄ろうとしていた。「あんなことは二度とあってはいけない。ボクにも、できることがきっとある」。愛する故郷と大切なみんなを守るため、ブドリはある決意をする。ますむらひろしによる猫をキャラクターとしたマンガ版をベースとして、宮沢賢治の世界を新たに構成した作品。

『GUNSLINGER GIRL』

相田 裕

マンガ（第16回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞）

＜複製原画、カラーイラスト＞

複製原画やネーム原稿、カラーイラストなどを展示します。



© 相田 裕

舞台は、地域独立運動とテロの嵐が吹き荒れるイタリア。政府の秘密機関「社会福祉公社」は、生きる希望を失った重症患者の少女を集め、サイボーグ手術を施してテロとの戦いの尖兵としていた。彼女らは記憶を消され、忠実化の洗脳を受けて、パティである担当官の男性と疑似兄妹を演じながら、戦いに身を投じていく。担当官への愛情は洗脳の結果なのか？ 日常に感じる幸せは真実なのか？ 個々のエピソードを通じて人間の尊厳について問いかける。担当官たちはさまざまな事情でキャリアを失い、秘密機関に流れついた過去を持っており、なかでもテロで肉親を失った兄弟の復讐を軸にして物語は進行する。美しいイタリアの風景のもと、テロリスト、一般市民、研究者、司法関係者……さまざまな人間たちの必死に生きる姿を描ききった、いわゆる「戦闘美少女」ものの枠を超えた、一大群像劇である。



『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』

長井 龍雪（監督） / 岡田 麿里（脚本） / 田中 将賀（キャラクターデザイン）

テレビアニメーション（第15回アニメーション部門審査委員会推薦作品）

<キャラクター設定資料>

新潟県出身の長井監督が本作品に寄せた長井監督のメッセージボードとともに、キャラクターや美術背景などの設定資料を展示します。



©ANOHANA PROJECT

幼なじみで仲良しの小学生6人組「超平和バスターズ」。その1人、めんまが事故死してしまう。残された仲間はめんまの死によってトラウマを抱えながら高校生へと成長していく。そんなある日、主人公・じんたんの前に、死んだはずのめんまが突然成長した姿で現れたことをきっかけに、幼なじみたちが再び集結する。埼玉県秩父市をモデルとした郊外の情景を舞台に、様々な人間関係の中で生じるキャラクターたちの複雑な感情の機微を描き出している。

■上映

『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』

日時：11月2日（土）、11月3日（日）

会場：新潟市マンガ・アニメ情報館内ミニシアター

「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—アニメーションプログラム—（90分）」

国内外から優れた作品を募集し、表彰する文化庁メディア芸術祭。江戸の大火事を舞台とした「火要鎮（ひのようじん）」や、ウサギを崇拝する人々を描いた「グレートラビット」、その他、手描きや人形アニメーションなど海外でも評価の高い受賞作品を中心として選んだ12作品、90分のプログラムです。

●白山エリア上映

日時：10月30日（水）～11月4日（月・休日）10：00～17：00（繰り返し上映）

会場：りゅーとぴあ 4F ギャラリー

●万代エリア上映

日程：11月2日（土）、11月3日（日）

会場：新潟市マンガ・アニメ情報館内ミニシアター



「第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品—アニメーションプログラム— (90分)」

●上映作品一覧

作品名	作家名	賞	時間
awaiting	キム・ハケン	審査委員会推薦作品	3'30"
crazy for it	久保 雄太郎	審査委員会推薦作品	3'37"
布団	水尻 自子	新人賞	6'02"
ぼくもくま	合田 経郎	審査委員会推薦作品	5'00"
感傷の沈殿	鈴木 沙織	審査委員会推薦作品	6'14"
ニュ〜東京音頭	ぬQ	審査委員会推薦作品	5'00"
Kiya Kiya	近藤 聡乃	審査委員会推薦作品	6'39"
就活狂想曲	吉田 まほ	審査委員会推薦作品	7'27"
グレートラビット	和田 淳	優秀賞	7'12"
櫻本箒製作所	告畑 綾	審査委員会推薦作品	9'16"
夕化粧	胡 嫻嫻	審査委員会推薦作品	10'19"
火要鎮	大友 克洋	大賞	12'43"

プログラム監修：村上 寛光（東京藝術大学大学院映像研究科助教）



『火要鎮』大友克洋



『グレートラビット』和田淳



『ニュ〜東京音頭』ぬQ



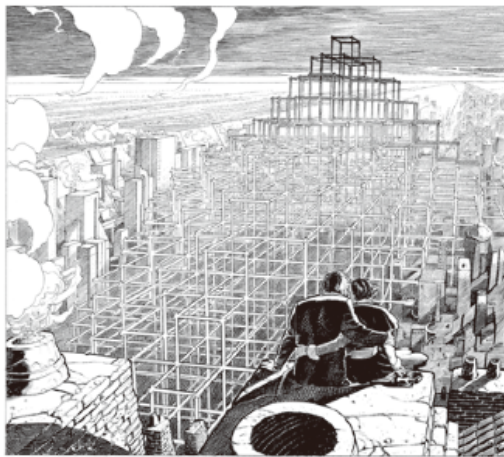
■マンガ閲覧コーナー（第16回文化庁メディア芸術祭受賞作品）

会期：2013年10月30日（水）～11月4日（月・休日）

会場：りゅーとぴあ 4F ギャラリー

●作品一覧

作品名	作家名	賞
闇の国々	ブノワ・ペータース／フランソワ・スクイテン 訳：古永 真一／原 正人	大賞
岳 みんなの山	石塚 真一	優秀賞
ましろのおと	羅川 真里茂	優秀賞
ムチャチヨ - ある少年の革命	エマニュエル・ルパージュ	優秀賞
GUNSLINGER GIRL	相田 裕	優秀賞
凍りの掌 シベリア抑留記	おざわ ゆき	新人賞
千年万年りんごの子	田中 相	新人賞
ぼくらのフカ祭	真造 圭伍	新人賞



『闇の国々』 ©Benoit Peeters, François Schuiten, Casterman,
小学館集英社プロダクション



『ましろのおと』 ©羅川真里茂



『千年万年りんごの子』 ©田中相／講談社

【お問い合わせ】

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業事務局（一般財団法人NHKインターナショナル内）

TEL: 03-6415-8500 FAX: 03-6415-8502 E-mail: jmaf-info@nhkint.or.jp